

平成30年度 第2回 藤沢市地域福祉計画推進委員会

議 事 要 旨

I. 開催概要

1. 日 時 2018年(平成30年)8月30日(木)
9時30分～12時00分

2. 会 場 藤沢市役所本庁舎5階 5-1・5-2会議室

3. 出席者

(1) 委員=20名

石渡 和実, 北島 令司, 松永 文和, 東田 正喜, 三枝 公一,
戸高 洋充, 宮久 雪代, 木村 依子, 越智 明美, 市川 勤,
南部 久子, 椎野 幸一, 川辺 克郎, 川原田 武, 伊原 敦,
石井 康子, 堀口 陽子, 越川 玲子, 松沢 邦芳, 江崎 康子

(2) 事務局=19名

福祉健康部長：片山部長

福祉健康総務課：蓑原参事, 江添主幹

生活援護課：矢後所長

介護保険課：寺田参事

障がい福祉課：安孫子参事

市民自治推進課：宮原参事

地域包括ケアシステム推進室：平井室長, 三ツ井主幹, 内田主幹, 新井主幹,
齊藤室長補佐, 一瀬主査, 糊澤, 小野

藤沢市社会福祉協議会：倉持参与, 村上次長, 平澤課長補佐, 池田主査

(3) 傍聴者=1人

4. 議 題

1. 開 会

2. 議 題

(1) 藤沢市地域福祉活動計画について

(2) 藤沢市地域福祉計画2020<中間見直し>の進行管理について

3. 意見交換

(1) 藤沢市地域福祉計画2020<中間見直し>の「施策の展開」における各団体の取り組みについて

4. その他

5. 閉 会

II. 会議の概要（議事要旨）

1. 開会

2. 議題

(1) 藤沢市地域福祉活動計画について

◆事務局より本議題を設けた趣旨を説明。

◆伊原委員より資料1から資料4に基づき説明。

椎野委員

資料4について気になる点があったのですが、まず、この資料4は地区社協が作った資料になるのでしょうか。

伊原委員

各地区社協に協力いただいて作成したものです。

椎野委員

この資料を確認すると、村岡、片瀬の防災の記載が非常に薄いと感じます。防災に関する取組は、地区社協だけでは難しく、防災組織と連携しなければ中々進みません。また、この資料だけでは地域活動を網羅できていないため、市社協にも協力してもらい、情報を収集する必要があると思います。もっとの確に

情報を集めて、活用できればいいのではと感じました。

あと情報提供したいのですが、私は宮原に住んでいますが、先日子どもたちを対象に、地域でラジオ体操や流しそうめん大会など行いました。これは子どもたちを地域で育むうえで重要な取組であると思っています。これは地区社協ではなく違う団体などが行っていますが、こういった取組も重要だと思うので、このような取組も把握していただけていただけたらと思います。また、各地区のこのような取組をこの委員会で報告してもらえたら情報共有ができると思います。地域におけるボランティア活動は、取組を実施するだけでなく、実際にやったことを委員会などで報告することが重要だと感じています。

あと、資料3の構成ですが、地区別相談件数はありますが、総数の記載がありません。また、相談の内容も見えてきません。相談件数だけでなく、相談内容の中身の話が重要だと思います。せっかく作っていただき、また分かりやすい資料なので、そういった工夫をしていただくと、より良い資料になると思います。

伊原委員

ありがたいご指摘です。1点目の防災についてですが、たしかに地域全体の動きが見えていないのは工夫が必要だと感じています。この資料4については、地区社協の取組についてまとめたものですが、それだけではなく、他団体の動きも見える化をしないといけないと改めて感じました。ありがとうございます。

石渡委員長

的確なご指摘ありがとうございます。行政や社協が難しいと感じている部分がたくさんあるなと思いました。

市川委員

椎野さんのご指摘はそのとおりだと思います。長後地区の記載箇所も活動計画は地区社協の取組が中心になっていますが、それでは足りないと感じます。地域では、活動計画に記載されていることに則していない取組をたくさんしています。例えば防災についてでも、自治会でどのように考え、取組を広げていくかを考え、推進しています。

活動計画に記載されていないと、我々がなにもやっていないと感じてしましますが、実際は各地域で活動計画に則した取組をたくさん行っています。そこをもっと見えるようにしてもらえたらいいのではと思います。

松永委員

伊原委員の説明は非常に分かりやすかったです。地域福祉計画は行政計画なので、どうしても狭間が生まれてしまいます。地域福祉活動計画は市社協が中心となり、地域のニーズに則したきめ細やかなことが記載されているため、地域福祉計画における狭間を補完している部分もあります。国のガイドラインでも地域福祉計画と地域福祉活動計画の連携が重要であることが記載されています。地域福祉活動計画はアクションプランであり、地域福祉計画に記載されていない内容もたくさんあります。計画なので評価や進行管理といった話が出てきますが、地域福祉活動計画ではリレーションシップのゴールが重要かと思います。しかし、地域福祉活動計画では拾い切れていない地域の取組もあるため、市町村によっては地区別の活動計画を作っているところもあります。地域での活動や取組が事例として紹介されているということは、地域活動されている方からすると非常にうれしく、評価されていると感じると思います。

石渡委員長

非常にまとめていただきました。今後課題はたくさんあると思います。また、地区ごとの活動計画を作っているところもあるので、どのように各地区の取組をまとめるのが重要だと思います。

南部委員

この地域福祉活動計画はどこまで周知しているのでしょうか。私は今回初めて知りました。他地区ではこの計画を意識して取り組んでいるのでしょうか。

伊原委員

地区社協やボランティアセンターをはじめ、関係する機関には配っています。ご希望があれば、いつでもお渡しさせていただきます。

椎野委員

この活動計画は地区におりていません。活動計画を知らないといった人もたくさんいるので、もっとPDCAを意識する必要があると思います。私は今回の話を地域におろします。そうしないと地域に広がりません。

堀口委員

計画と実情は大きな乖離があります。地域福祉計画も地域福祉活動計画も知っている方は地域に全然いません。地域福祉計画は中間見直しを行ったので、9月に民生委員で勉強会を実施する予定です。他の団体にもお声かけしました。

ちなみに、声かけした際に一番反応が良かったのがゆめクラブでした。これらの計画は地域では知られておらず、また興味も持たれていません。地区社協の取組は計画があってもなくても行われています。活動計画の P68 に意見交換や取組状況の確認と記載されていますが、されているのでしょうか。地区では社協をはじめ様々な団体が活発に活動していますが、計画との乖離があると感じています。

石渡委員長

非常に重要なご意見です。この乖離をどうやって埋めていくかが重要。この後の進行管理にもつながるかと思います。

石井委員

計画と地域団体との差があるなど感じています。しかし、差があっても計画を見ると自分たちはできていると再確認できる部分もあります。資料4も非常に重要で、活動計画と資料4の両方を見ると地域が見えているなど感じています。1点質問ですが、地区社協が関わっている地域の縁側もあると聞いていますが、どれくらいの割合で地区社協が関わっているのでしょうか。

事務局

地区社協が直接運営されているのは4か所あります。それ以外にも実際に開所の時に支援員として関わっているところもあります。

石井委員

地区社協が関わっていない地域の縁側にどのように地区社協が関わるのか。そこが課題だと感じています。

石渡委員長

今後の課題かなと感じます。

北島副委員長

説明を伺って、改めて大変いい冊子を作っていただいたと感じました。活動計画ではないのですが、地域福祉計画については地区社協連絡協議会や鵜沼の地区社協の常任委員会で推進室の方に説明いただきました。こういったことが重要で、場を設けることが必要だと感じています。社協だけではできないものがあるので時間はかかるが、一つずつ進めるのが重要だと思います。

石渡委員長

場を設けることは非常に重要で、改めていろいろな周知方法があるなど感じました。

事務局

地域福祉を推進するうえで、13地区の展開ということが非常に重要であり、その視点を持って推進していますが、地区ごとに差が非常にあります。過去の経過も地域によって異なりますが、今の計画を地域に広めていくことが必要であり、丁寧な説明が重要だと考えています。まずは地域の皆様の活動を尊重させていただき、そのうえで地域の皆様と行政が協働して地域福祉を推進できればと感じています。また、計画の次期改定に向け、より連携できるように進めていきたいと考えています。

石渡委員長

皆さん多くのご意見ありがとうございました。まだまだご意見があると思いますが、時間が限られていますので、次の議題に移らせていただきます。

(2) 藤沢市地域福祉計画2020<中間見直し>の進行管理について

◆事務局より資料5，資料6に基づき説明。

石渡委員長

前回からの案として“(案)の1”，新たな案として“(案)の2”を示してくれました。“(案)の1”は前回と同様に行政・市社協・地域の取組のそれぞれを「施策の方向性」ごとに進行管理する案，“(案)の2”は行政・市社協の取組は「施策の方向性」ごとに、地域の取組を「基本目標」ごとに進行管理することですが、ご意見がある方はいますか。

椎野委員

評価をするうえでベースになるものはあるのでしょうか。あくまで行政が作った資料に基づいてどのように評価するのでしょうか。

事務局

評価の方法ですが、事業別評価は難しいと考えております。そのため、それぞれの取組に対する意見を頂けたらと考えております。その後、委員の皆様から

頂いたご意見を事務局で集約いたしまして資料を作成し、地域にフィードバックさせていただきます。

椎野委員

評価をするうえで、委員も13地区の取組や状況、また、他分野の取組を理解していないと思うのですが、その点はどのようにのでしょうか。

事務局

それぞれお分かりになる取組についてご意見をいただければと思います。様々な分野や地区の方々がこちらの委員会に参画いただいているので、委員皆様のご意見を集約させていただくことにより、進行管理シートが完成すると考えています。

椎野委員

最終的には役所がまとめて進行管理すること必要で、さらにまとめたものをこの委員会や地域で共有し、考えることが重要だと思います。

江崎委員

取組について、中身を分からないもののほうが多いので、進行管理できるかが正直不安です。知っているものもあるが、意見するのがなかなか難しい取組もあります。

事務局

シートに記載されている内容で、それぞれの取組がどんな内容なのか分かるような工夫は当然いたしますが、それだけでは分からないものもあるかと思えます。その場合には別途説明させていただく時間を設けさせていただきます。また、そもそもこの取組を知らないといったご意見も進行管理では重要だと考えています。知らないということは、地域に浸透していないといった結果なので、より周知することが必要だという評価につながります。詳細ではなく包含的な意見も非常に重要で、より市民の方々に近い目線だと思います。

木村委員

議題の1つ目に戻りますが、地区社協の取組はよく見えました、それ以外の取組が中々見えないなど感じました。行政、市社協が把握していない取組も地域にはたくさんあると思いますので、把握しているもの、していないものを付け合わせて初めて地域福祉が見えてくると思います。例えば公民館における活

動なども重要だと思うので、行政内で分野横断的に横串を指していただき、幅広く情報収集していただけたらより良いのではと感じました。感想です。

市川委員

私は“(案)の1”の方が良いと思います。しかし、評価シートの中に例えば行政の取組で、どこの地域に対してその事業を行ったのかを書いてほしいなと思います。正直、地域では行政の取組は中々知られていないので、行政や市社協の取組や知っていることをもっと教えてほしいです。実際に取組をどこの地区でやったのかを書いてくれば、あの地区はそこまで行政がやったのに中々取組が浸透していないなとか、そういった視点で評価することもできると思います。“(案)の1”をベースに工夫していただけると、我々も評価しやすいと感じました。

越川委員

地域福祉計画と地域福祉活動計画の差がどこにあるのでしょうか。活動計画は地域における取組を記載しているので、そちらの計画で進行管理をすれば良いのではと感じてしまいました。

松永委員

基本に立ち返りたいと思います。地域福祉計画の42ページに進行管理体制が記載されていますが、そもそも地域福祉計画の進行管理をなぜ行うのか。この計画の進行管理は事業評価ではなく、制度や施策につなげていけるような進行管理を行う必要があるのではと思います。

私は“(案)の2”が良いのではと思います。行政の取組は「施策の方向性」ごとに分けることができますし、評価する必要があると思います。しかし、地域の取組は事務局の提案のとおり、同じように分けるのはなかなか難しいと思います。そういった中で、市社協の取組も「施策の方向性」ごとに分けなくてもいいのではと感じます。しかし、市社協が取り組むうえで、「施策の方向性」を意識する必要は当然あるので、意識したうえで「基本目標」ごとの進行管理がいいのではと感じました。また、シートの記載内容について、「事業内容」と「2017年度の取組」が重複してしまう部分もあるかと思うので、記載内容は工夫が必要かと思いました。進行管理は行政と地域がそれぞれ評価することが非常に重要で、また、すべての地区の取組を理解することは当然難しいので、「基本目標」ごとのような、大枠での記載のほうが委員も進行管理の記載がしやすいのではないのでしょうか。

石渡委員長

松永委員に整理していただきました。1点確認したいのですが、具体的な進行管理のやり方について、行政がシートを埋めてそれを踏まえて委員が進行管理するのか、それとも先に委員にシートを埋めてもらうのでしょうか。また、予定している評価方法はABCのような評価なのか、気づいた点を記載するような評価なのか、どちらなのでしょうか。

事務局

進行管理シートの出し方ですが、行政で整理したものを委員の皆様にお示しし、ご意見をいただく流れを予定しています。もう1点の評価方法ですが、ABCのような評価ではなく、気づいた点や反省点などといった意見等を記載することを考えています。地域福祉の推進はABC評価では図れず、また、頂いたご意見を踏まえて地域福祉を推進することが重要だと思えます。市川委員のご意見はその通りで、具体的な地区名を記載する必要があると感じております。具体的な地区を記載することにより、その取組をこの地区で行ったため、現状こうなっている、取組を行ったのにあまり浸透していないと考える尺度にもなると思えます。そういった点も踏まえ、より工夫してまいります。

椎野委員

取り組んだことに対し、反省しなくてはいけないところを意見し、記載する評価も重要だと思えます。ABCの評価では見えてこない部分もあるので、それぞれの意見シートに記述するといった今の事務局の案は良いと思えます。

石渡委員長

ABCのような評価ではなく、気付いた点や感じたことを記述することが藤沢市の進行管理ということです。確かにABCの評価では測れないものがたくさんあると思えます。

椎野委員

地域福祉計画と地域の取組にどれだけ差があるのかを確認し、評価することが重要だと思えます。地域福祉計画を基準に、次の年度にこの差をどうやって無くしていくかを考えることにつながっていくと感じています。あくまで、物差しはこの計画であり、私もABCの評価は考えておらず、難しいと思えます。こういった評価を地域の皆さんに見てもらおうと、地域では励みになる部分もあるし、頑張らなくてはと思うきっかけになりますのでこの進行管理は良いと思えます。

事務局

事務局から“(案)の1”と“(案)の2”をお示しし、松永委員からは新たに“(案)の3”をご提案いただきました。“(案)の3”は行政の取組は「施策の方向性」ごとに、市社協及び地域の取組を「基本目標」ごとに進行管理するといったものになります。できましたら、今回の委員会で評価シートの大枠を決めさせていただきたいと考えております。

三枝委員

評価は行政でやるべきところも当然あると思いますが、地域の方にも評価してもらい方も必要かと思えます。実際、地域福祉計画は市民の方があまり知らず、置いてきぼりになっていると感じています。もちろん、最初からは当然難しいと思うので、今後、住民間での評価もできれば良いと思えます。より地域の方が自分ごととして捉える計画とするための進行管理になればと思えます。私は介護施設に勤めていますが、職員が地域福祉計画を知っているかという正直知らない方が多いのが現状です。

石渡委員長

地域住民の意見をもらうことも重要であるといったご意見かと思えます。いろいろなご意見を本日頂きました。これまでのご意見を踏まえ、評価シートの大枠を決められればと思うのですが、どのように決めましょうか。

椎野委員

委員間で採決を行い、シートを確定させ、それで今後進めていく。進めていく中で難しいと感じれば、別の案にすればいいと思えます。とりあえずまずはやってみることが重要だと思えます。

市川委員

事務局が作りやすいシートにしてもらえればいいと思えます。まずは事務局が作りやすいものを作ってください、それをサンプルとして委員会で示してもらい議論すれば良いのではないのでしょうか。椎野委員の言うとおおり、まずはやってみないと分からないので、進める中で別の案にすることも含め、柔軟に行っていければいいと思えます。

事務局

事務局としては“(案)の2”か“(案)の3”が良いのではと考えています。

どちらにするかにつきましては、市社協とも調整させていただいたうえで確定させ、次回の委員会でサンプルとしてお示しさせていただければと思います。当然そこからの修正にも対応しますし、別の案への変更も考えています。委員の皆様がおっしゃるとおり、まずは作成することが重要だと思います。

石渡委員長

それでは評価シートの大枠については、事務局に一任ということでよろしいでしょうか。事務局も委員の皆様に対し、非常に柔軟な姿勢をお示しいただけたなど感じました。

3. 意見交換

(1) 藤沢市地域福祉計画2020<中間見直し>の「施策の展開」における各団体の取り組みについて

◆事務局より資料7に基づき、意見交換の趣旨を説明。

事務局

今回は時間がないので意見交換は延期させていただきますが、次回以降、意見交換を実施させていただきます。資料の説明でもお話しさせていただきましたが、この意見交換の結果を次期計画改定に生かさせていただければと考えております。スケジュールにつきましては、資料7に記載されている日程が1回ずつスライドして意見交換を開催させていただく予定となります。

4. その他

◆事務局より当日配布のイベントチラシ等について説明。

5. 閉会

石渡委員長

今回の委員会より会議時間を2時間30分に延長させていただきましたが、それでも足りないくらいでした。それだけ内容が濃く、活発なご意見を頂けたと思います。次回につきましてもよろしく願いいたします。それでは司会を事

務局にお返しいたします。

事務局

石渡委員長，ありがとうございます。また，委員の皆様につきましても，ご審議いただきましてありがとうございます。最後に片山福祉健康部長より挨拶させていただきます。

片山福祉健康部長

長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございます。この委員会は，皆様の生のご意見を伺える貴重な場だと感じています。国では社会福祉法が改正され，地域共生社会の実現に際し，行政の責任が明確に示され，さらに地域福祉計画の位置付けがより重要なものになりました。今回の議題でもありました計画の評価や進行管理につきまして，計画の評価そのものが地域の取組が良い悪いと評価するものではありません。あくまで地域を後押しするきっかけになるものでございます。また地域福祉活動計画について市社協より報告いただきましたが，市社協は地域の細かい取組まで把握しています。本日は地区社協の取組をまとめている資料をお示しいただきましたが，それ以外の地域における細かい取組を共有できる場も今後作ることができればと思います。本日は2時間30分でも足りないくらい活発なご議論をいただきまして本当にありがとうございます。お疲れ様でした。

以 上